

感染症ニュース

No.145 2017/05/12

<流行中の感染症>

感染性胃腸炎

乳児が感染すると白っぽい下痢便が続くロタウイルスによる胃腸炎が流行中。
また、これからの季節は、細菌による食中毒にも注意。

インフルエンザ

全国的に流行は収まってきているが、富山市内では、B型の検出が続いている。

手足口病

毎年、夏を中心に流行するが、病原体となるウイルスは何種類もあり、年によって流行が異なる。現在流行中のウイルスは、6年前に大流行したコクサッキーA6型で、通常より大きな発疹が、手・足・口だけでなく体にもできる。

マイコプラズマ感染症

2週間以上、咳が続く。特に、夜間の咳が多い。潜伏期間が2～3週間と長いため、長期間にわたって流行が持続し、園内・学校内・職場内・家庭内感染も多い。

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

昨年から富山県内で大流行中。潜伏期間は2～3週間。

溶連菌感染症

一度かかると、何度も繰り返すことが多く、大人も感染する。腎炎を合併すると、将来的に腎不全に陥り、生涯、透析治療が必要となることもある。

アデノウイルス感染症（プール熱、流行性角結膜炎）

感染力が非常に強いため、登園・登校が禁止になる。

石川県内における麻疹（はしか）の発生

4月に石川県内で、4例の麻疹患者の報告があった。発端は、インドから帰国後に発症した30代の成人男性で、診断を受ける前に、子の入学式に出席し、写真館にも立ち寄ったとのことで、入学式出席者や写真館の店員など10代～40代の男女3人に感染したとのこと。発端の男性は、発症直前に北陸新幹線で東京から金沢へ移動していたため、富山県内への影響も心配されたが、今のところ発生の報告なし。